平 成 ２ ７ 年 ４ 月 ７ 日
東北地方整備局 青森河川国道事務所
青 森 県 県 土 整 備 部 河 川 砂 防 課

# 津軽ダムがあれば、水位を１２０cm低下
# ～４月３日融雪洪水のダムによる水位低減効果（速報）～

**4月3日に岩木川で発生した洪水では、融雪も伴ったことから大きな洪水となりました。**
**今回の融雪洪水により、岩木川上流に位置する目屋ダムにより、水位を約70㎝低減させました。現在建設中の津軽ダムが完成していた場合には、更に水位を50㎝低減させることができたものと推察されます。**

○３日５時頃から 17 時頃まで降り続いた雨は、岩木川上流の目屋ダムで累加雨量 102 ㎜、最大時間雨量は 28 ㎜（3 日 13 時）を記録しました。
○この洪水では、河道監視のための河川管理用通路を越水し、３地区の果樹林が冠水しました。冠水面積は、弘前市鳴瀬地区は約 8.0ha、白子地区は約 43.2ha、藤崎町真那板地区は約 7.7ha となっています。
○目屋ダム（青森県管理）は、4 月としては平成 17 年 4 月以来 10 年ぶりに計画高水流量 500m3/s を超過したことから、異常洪水時防災操作を実施しました。
○目屋ダムにより、弘前市三世寺水位観測所地点で約 70 ㎝の水位低減効果が発現されました。
○また、現在建設中の津軽ダムが完成していた場合には、目屋ダムの水位低減効果量 70 ㎝から更に 50 ㎝低減させることができたものと推察され、今回冠水した果樹林の被害を大幅に軽減出来たものと思われます。
○現在、青森河川国道事務所では、越水により損傷した管理用通路の応急復旧を進めているところです。本格的な出水期を迎える６月下旬までに本復旧を完了させる予定としています。

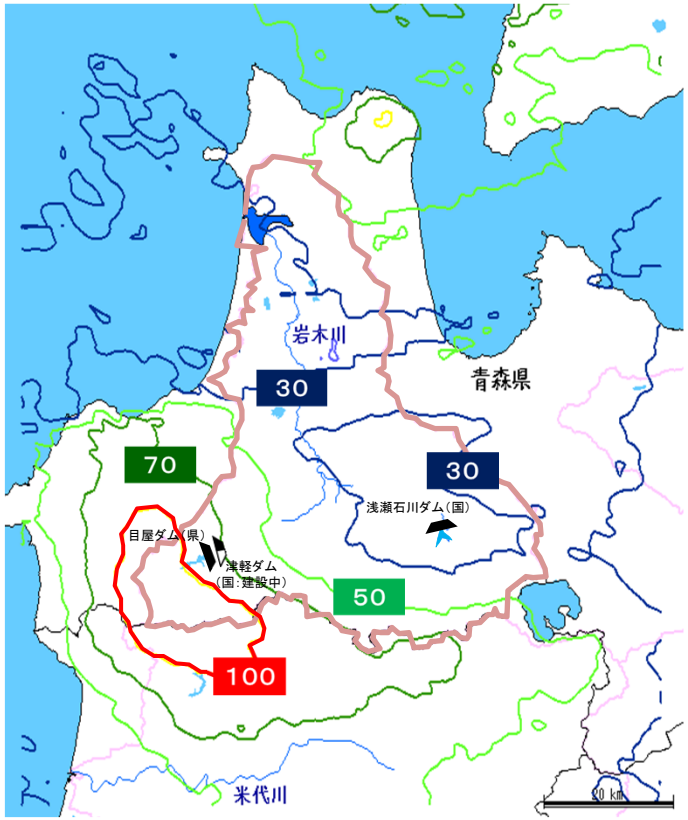
発表記者会＜青森県政記者会、建設関係専門紙、津軽新報社＞


| 問い合わせ先 | | |
|---|---|---|
| 国土交通省 東北地方整備局 青森河川国道事務所 | | TEL 017-734-4521(代表) |
| 副所長(河川) | 平山　孝信 | （内線204） |
| 工務第一課長 | 工藤　尚武 | （内線311） |
| 調査第一課長 | 木村　慎二 | （内線351） |
| 青森県 県土整備部 河川砂防課 | | TEL 017-734-9664(直通) |
| ダムグループマネージャー | 鈴木　憲昭 | （内線4289） |

# 平成27年4月3日発生　岩木川融雪洪水の概要（速報版）

## 降雨状況

・降雨時間：平成27年4月3日　5時～17時
・降雨量（目屋ダム雨量観測所：国）：時間雨量　28mm
　　累加雨量　102mm




※青森河川国道事務所作成

**★4月としては大雨となり、融雪も伴い大きな洪水となった。**

## 水位状況

・三世寺観測所（国）の最高水位は17.52m（3日19時）であり、水位記録のある45年間の融雪期（3～5月）の洪水としては、4番目に高い水位を記録。この洪水により弘前市、藤崎町において、高水敷の果樹林が冠水。

三世寺水位観測所

| 発生日・時刻 | | 最高水位 | 順位 |
|---|---|---|---|
| 平成9年5月8日 | 14:00 | 18.37m | 1 |
| 昭和55年4月6日 | 23:00 | 17.80m | 2 |
| 平成17年4月7日 | 24:00 | 17.62m | 3 |
| 平成27年4月3日 | 19:00 | 17.52m | 4 |

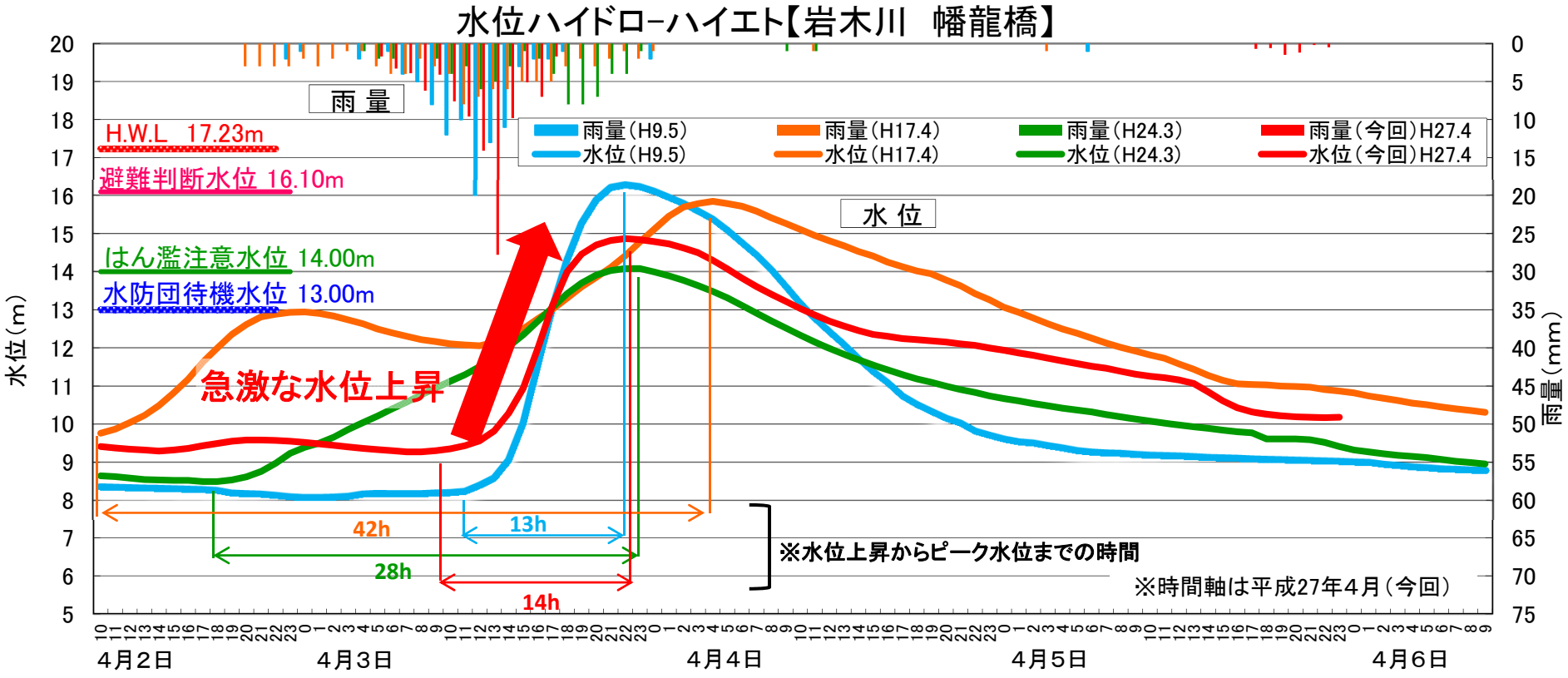
※水位記録のある昭和46年から現在までの順位（45年間）




※速報値であり、今後変わることがあります。

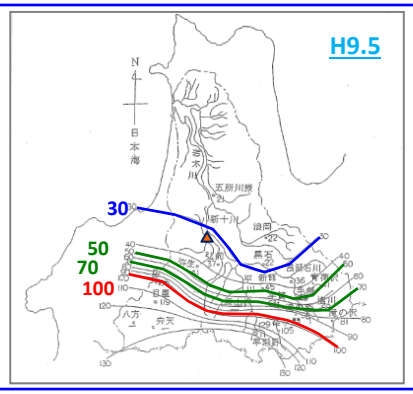
# 平成27年4月3日発生　岩木川融雪洪水の特徴

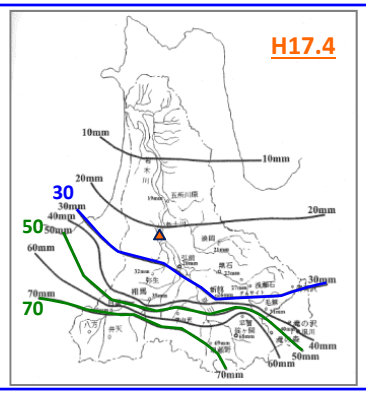
➢ 今回の洪水は、過去の融雪洪水と比較して、急激な水位上昇の洪水パターンとなった。

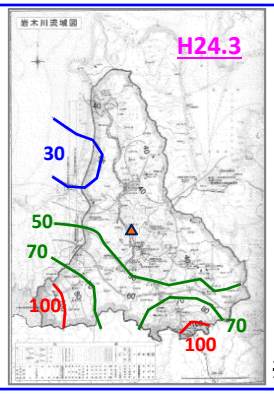


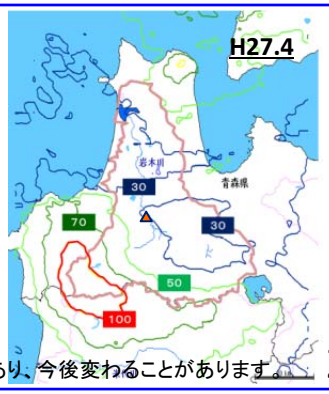

**等雨量線図**
**(累加雨量mm)**

**幡龍橋** ▲




※速報値であり、今後変わることがあります。

# 平成27年4月4日現地調査結果　果樹林の冠水状況




平成27年4月4日　10時28分撮影

※速報値であり、今後変わることがあります。

# 平成27年4月3日発生　岩木川融雪洪水における水位の状況

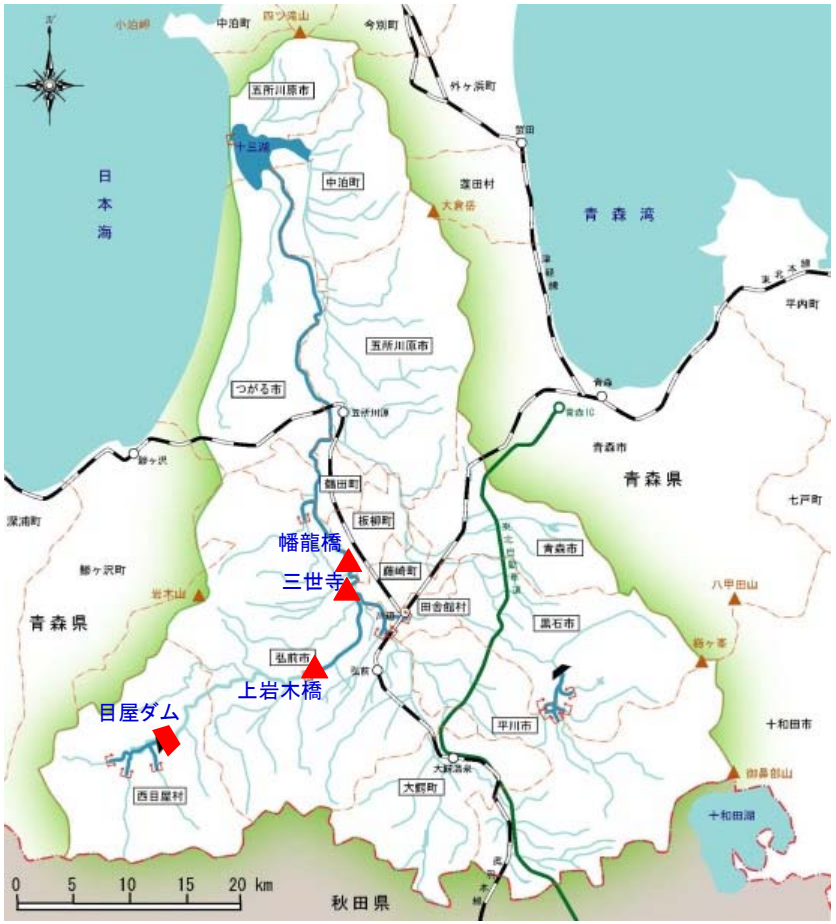
■目屋ダム（青森県管理）の異常洪水時防災操作（ただし書き操作）
・4月期としては平成17年4月以来10年ぶりに計画高水流量
＜500m3/s＞を超過

↓

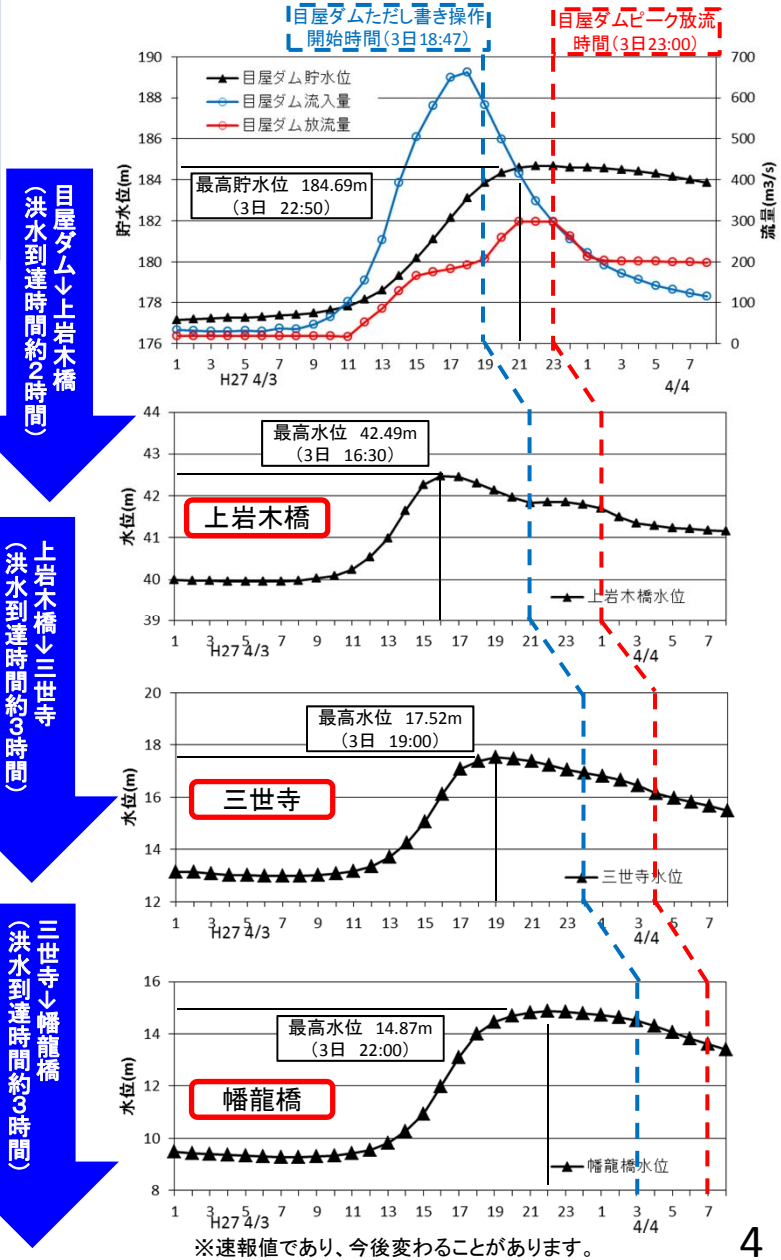
■4月3日18時47分に異常洪水時防災操作に移行

※なお、異常洪水時防災操作による放流は、下流観測所の最高水位より後に到達している

## 位置図




## 異常洪水時防災操作と下流水位

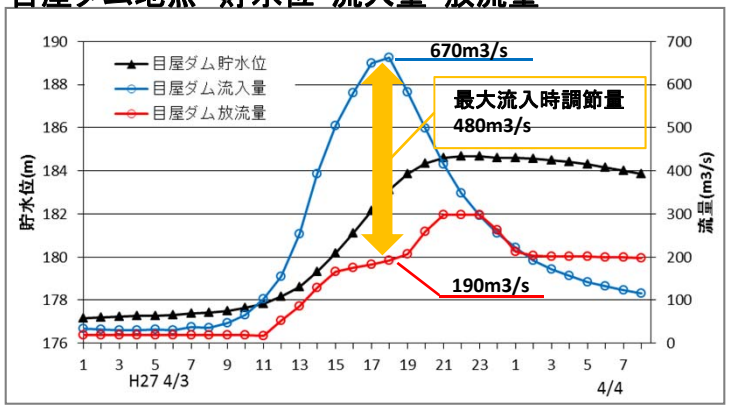



※速報値であり、今後変わることがあります。

# 平成27年4月3日発生　岩木川融雪洪水による目屋ダム・津軽ダムの効果

・平成27年4月3日融雪洪水では、目屋ダムにより、三世寺地区で約70cm水位低減できたものと推察されます。
・現在建設中の津軽ダムが完成（平成28年度予定）していた場合には、水位を約120cm低減させることができたものと推察され、今回のような果樹林の冠水被害は大幅に軽減できたものと思われます。

目屋ダム地点　貯水位・流入量・放流量




目屋ダム　現況写真




H26.9撮影

津軽ダム　完成予想



